

2023 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	特定非営利活動法人 SKY 協働センター
活動テーマ	坂町の被災者・被災地コミュニティ形成のための集いの場づくりと内発的復興の取り組み活動



① 災害公営住宅のコミュニティ形成促進活動

2022年に引き続き、平成30年7月豪雨災害の被災者が暮らす北新地地区、小屋浦地区の公営住宅で、毎月交流サロンを開催している。公営住宅の会長は、「同じ住宅に住んでいても、日ごろ会って話すひとは限定的だ。サロンを入居者だけでやるのは大変。SKYのサロンは、気軽に参加できる。大学生がボランティアとして参加してくださるのも、元気がもらえてありがたい」と言ってくれる。一方で、災害から6年経過し高齢化が進み、救急車を呼ぶケースが増えたという。「あれ、きょうは〇〇さん、見ないけど声をかけてみよう」と住民がお互いを気に掛けるやさしい住宅になることを願ってやまない。

② 地域でのコミュニティ再生活動の広がり

コロナの5類に移行で、坂、小屋浦、鯛尾の各地区で、定期的に交流会が開催できた。スーパー、病院が無くなった小屋浦地区では、マルシェやバザーを開催し交流機会をつくったところ、大勢の住民が大声で話し笑顔があふれた。坂地区で、空き家を改修した「SKYハウス」は、毎週金曜日に開放しており、子どもたちから高齢者まで気軽に立ち寄ってくれる。子どもたちの日ごろの生活についてうかがい知る機会となっており、家庭問題を抱えてる子が少なからずいる。その課題解決にむけ地域でできること考えるきっかけとなっている。公民館を借りて、夏休みの子どもの居場所づくりや季節の祭りを開催した。夏休みは公民館やコミュニティハウスに子どもたちが集い、宿題やゲームをして過ごした。子ども祭りは子どもたちが企画し大人達が手伝う方式を取り入れた。みんなが役割をもって協力しながら楽しい祭りにしてくれた。地域住民の交流は、暮らしの安心、安全そして減災につながることから、これからも活動を継続していきたい。